

IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ

IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutrition Sciences のお知らせ(第3報)

注)IUNS: International Union of Nutritional Sciences、国際栄養科学連合

主にアジア地域の栄養学を専門とする若手の研究者及び実践活動に携わるリーダー育成のため、国際ワークショップを日本で開催することになりました。日本だけでなくアジア諸国からの参加者と課題や関心を共有し、リーダーシップに必要な知識とスキルの修得をめざします。関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。英語での討論が必要となりますが、流暢に会話ができなくても、積極的な参加と将来に向けての関係を築いていこうという意欲のある方を歓迎します。

主催: 日本学術会議IUNS分科会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、社団法人日本栄養・食糧学会、独立行政法人国立健康・栄養研究所

目的: アジア地域における健康と栄養の向上を目的として、若手研究者等に対するリーダーシップ研修を通じて、栄養学研究及びその応用にかかわる人材育成とネットワークづくりを図る。

日時: 2010年9月7日(火) 9時30分～9月9日(木) 19時

会場: 独立行政法人国立健康・栄養研究所(東京都新宿区戸山1-23-1)及び見学施設

プログラム: 下記の3つのトピックについて、講義(関連の公開シンポジウム参加を含む)、グループワーク及び発表討論、関連施設の見学を行う。

Topic	Objectives	Field trip	Group work
“Shokuiku” at national level: a focus on School Meal Program and its related policies	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の栄養教育手法、特に学校給食制度を理解する。 ・日本の学校給食制度の歴史を理解する。日本の学校における栄養教育手法(衛生管理を含む)を理解する。 ・日本の「食育」の法的制度:キープレーヤーとしての管理栄養士・栄養士の役割を理解する。 	学校給食の現場(小学校における給食施設の見学、教室での試食)	<ol style="list-style-type: none"> (1)学校給食現場の視察に向けた概説 (2)外国人と日本人の参加者がペアになり、今回のワークショップの経験から今後、自国でどのような取り組みをするのが望ましいかを討論
Nutrition and Community Empowerment	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティにおける栄養改善活動のアセスメント、モニタリング、評価を行うためのフレームワークを提案することを目的とする。 ・特に、アセスメントに注目し、参加者のこれまでの経験の中でアセスメントに取り入れた視点を出し合い、整理し、フレームを作成する。 ・その結果、世界共通、地域別、国、コミュニティレベル等での重要な視点について検討を行う。 	市町村を訪問し、保健センター等で地域診断の状況について視察	<ol style="list-style-type: none"> (1)コミュニティのアセスメントについて、国際的に用いられている視点等の情報交換 (2)コミュニティのアセスメントに重要な視点についての意見交換 (3) (1)(2)と Field trip の整理 (4) アセスメントに重要な視点のフレームワークを作成 (5) (4)のフレームを活用し、参加者の地域のアセスメントのための調査計画書を作成
Functional Food	<ul style="list-style-type: none"> ・機能性食品の概要を理解し、機能性食品に求められるもの(機能の種類、安全性など)について考える。 ・日本の特定保健用食品制度や各国における食品の表示制度の概要を理解し、その意義、課題について考える。 ・機能性成分の構造と作用機序などの科学的側面を理解する。 	食品企業の工場及び食品技術開発センターの概要紹介と見学	<ol style="list-style-type: none"> (1)各国の機能性食品研究・開発・制度の現状とその制度の背景を紹介し、意見交換(日本の特定保健用食品の制度も紹介) (2)機能性食品の安全性について議論 (3)機能性成分の種類・構造と作用機序の概説

スケジュール(予定)

Time	September 7 (Tue)	September 8 (Wed)	September 9 (Thurs)
a.m.		LECTURE (Functional food) 8:00-8:30	LECTURE (Community Empowerment) 8:00-8:30
		GROUP WORK (2) 8:30-10:30	GROUP WORK(4) 8:30-15:30 <i>Including lunch & introduction of NIHN(2)</i>
	Opening/Orientation 9:30-10:00		
	Keynote Lecture 10:00-10:45		
	Coffee break 10:45-11:15	Field Trip(2): elementary school (near from NIHN, two schools) 10:45-13:15 <i>Including lunch</i>	
GROUP WORK(1) 11:15-12:00			
12:00-13:00	<i>Lunch break</i>		
p.m.	13:00-18:00 Field Trip(1): (divided to two sub groups) i) Community Programs ii) Functional Food	<i>Introduction of NIHN (1)</i> 13:15-13:45	
		14:00-17:30 The 4th Asian Network Symposium on Nutrition (NIHN)	<i>Coffee break 15:30-16:00</i>
			GROUP PRESENTATION 16:00-18:00
night	18:00- (up to 20:00) Group work or Dinner	18:00- (up to 20:00) GROUP WORK (3)	18:00-19:00 Farewell party and closing

NIHN: National Institute of Health and Nutrition

日本側コーディネータ、講師：清水誠(東京大学)、山本茂(お茶の水女子大学)、徳留信寛(国立健康・栄養研究所)、吉池信男(青森県立保健大学)、村山伸子(新潟医療福祉大学)、石川みどり(名寄市立大学)、田中清(京都女子大学)、熊谷日登美、赤尾真(日本大学)、西信雄(国立健康・栄養研究所)他
海外からの講師：“The 4th Asian Network Symposium on Nutrition”(※)のゲストスピーカー他

※詳細は、国立健康・栄養研究所のホームページ(<http://www.nih.go.jp/eiken/>)を参照のこと。

参加者の募集人数及び条件：日本国内20名程度、国外(東・東南アジアを中心に)10~15名程度

※国内からの参加者は、日本栄養改善学会もしくは日本栄養・食糧学会の会員であること。また、英語での討論が可能な者。3日間の全てのプログラムに参加可能な者。

参加費用：参加費用は無料。ただし、参加に伴う旅費・宿泊費・食費は自弁ないしは実費負担を原則とする。

※宿泊希望者については、ホテルサンルート東新宿(1泊 8,700円(税サ込、朝食付))を団体で予約しています。

参加申し込み方法：

・2010年4月26日(月)より受付開始、5月25日(火)締め切り(必着)。

・提出書類：①APPLICATION FORM(Wordの書式に顔写真・サインは画像データをペーストする、あるいはpdfとして)、②“Letter of Reference” for application(様式は問わず。日本語でも可)を添付ファイルとして下記に送付。
なお、メール本文に、日本語での氏名・所属・連絡先及び日本栄養改善学会もしくは日本栄養・食糧学会の会員番号を記載して下さい。

・応募書類提出先・問い合わせ先：nihn-ccp@nih.go.jp (担当:国立健康・栄養研究所国際栄養プロジェクト 三好)

・参加希望者多数の場合には主催者が選考を行い、申し込み終了時より1か月以内に通知します。参加決定者には、3つのトピックの選択について希望を伺います。